国会事項

衆議院

質問書提出

四月七日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

防災省の設立と民間の防災士制度の連携・共存に関する質問主意書（八幡愛提出）

質問書転送

四月七日次の質問主意書を内閣に転送した。

沖縄における米兵による事件事故等に関する再質問主意書

中国の国防七校とわが国の大学との提携に関する質問主意書

高額療養費制度の見直しに関する質問主意書

議事日程

四月八日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第十五号

令和七年四月八日（火曜日）

午後一時開議

第一　港湾法等の一部を改正する法律案（内閣提出）

第二　重要電子計算機に対する不正な行為による被害の防止に関する法律案（内閣提出）

第三　重要電子計算機に対する不正な行為による被害の防止に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案（内閣提出）

第四　日本国の自衛隊と我が国以外の締約国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国と我が国以外の締約国との間の協定の実施に関する法律案（内閣提出）

一　人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律案（内閣提出）の趣旨説明

参議院

議案付託

四月七日議長は、次の内閣提出案を委員会に付託した。

海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第四六号）

内閣委員会に付託

また、同日議長は、衆議院送付の次の内閣提出案を委員会に付託した。

裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（閣法第一四号）

法務委員会に付託

国際開発協会への加盟に伴う措置に関する法律及び米州投資公社への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第七号）

財政金融委員会に付託

質問主意書転送

四月七日次の質問主意書を内閣に転送した。

母子及び父子並びに寡婦福祉法の対象範囲に関する質問主意書（柴田巧提出）（第七六号）

土地利用状況に関する報告を踏まえた安全保障と外国人土地取得規制に関する再質問主意書（神谷宗幣提出）（第七七号）

LGBT理解増進法における「不当な差別」の定義の明確化に関する質問主意書（神谷宗幣提出）（第七八号）

「高度専門職」外国人受入れと安全保障上の懸念に関する質問主意書（神谷宗幣提出）（第七九号）

診療所医師の引退年齢を八十歳と仮定して医師偏在対策を策定することの妥当性に関する質問主意書（石垣のりこ提出）（第八〇号）

人事異動

内閣

○外務大臣臨時代理解職

国務大臣　林　芳正

外務大臣岩屋毅帰朝につき内閣法第十条の規定による臨時に外務大臣の職務を行う国務大臣としての指定を解く（四月五日）

（警察庁警備局付）警視長　則包　卓嗣

内閣事務官（内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付））に併任する（四月七日）

叙位・叙勲

○叙位

従四位に叙する

坂本　純一

従五位に叙する

新　正人　野本　大八　上運天次郎　坂水　康　佐野　文治

清尾　厚　名定　健三　三浦敬二郎

正六位に叙する（各通）

糸山　昇　小野　清司　庄司　秀明

冨岡　實　中野　昭範　本江　宏

松田　行正　村田　浩　山田　龍夫

従六位に叙する（各通）

川久保廣之　佐々木健司

正七位に叙する（各通）

井島　廣　江藤　秀夫

従七位に叙する（各通）（以上三月三日）

轡田　昇山　倉信　彰義

従五位に叙する

金城　恒陽　草刈日出晴

小林　正志　坂本　守　新屋　孝一

鷲見　度保　図師　末芳　長瀬　叶彦

藤原　孝彦　森谷　武　吉田　啓康

正六位に叙する（各通）

安藤　政昭　伊藤　達男　伊藤　文夫

菊池　文彰　草刈　伸也　佐藤　五郎

雪江　美治

従六位に叙する（各通）

田中　清睦　滑川　晴彦　山本　栄

正七位に叙する（各通）

従七位に叙する（以上三月四日）

（静岡大学名誉教授）

（徳島大学名誉教授）

正四位に叙する（各通）

（国立天文台名誉教授）

従四位に叙する

梅垣　努　及川　勝義

原田　志朗　渡**邉**　忠義

正六位に叙する（各通）

伊東　義勝　小堀正陽児　芝崎　嘉之

高林　利春　谷ノ内　隆　出口　道博

堀江　亘　武藤　幸夫　森　哲也

山口　正人

従六位に叙する（各通）

大西　茂　道塚　常義

正七位に叙する（各通）

岡部　善一　新二日市教文

従七位に叙する（各通）（以上三月五日）

○叙勲

井島　廣　小野　清司　川久保廣之

清尾　厚　本江　宏　松田　行正

瑞宝双光章を授ける（各通）

須藤　秀世　中野　昭範

瑞宝単光章を授ける（各通）（以上三月三日）

轡田　昇山

瑞宝小綬章を授ける

池田八十二　伊藤　文夫　倉信　彰義

坂本　守　佐藤　五郎　図師　末芳

田中　清睦　森谷　武　吉田　啓康

瑞宝双光章を授ける（各通）

伊藤　達男　草刈　伸也

山崎　和一　山本　栄

瑞宝単光章を授ける（各通）（以上三月四日）

（国立天文台名誉教授）　平山　淳

瑞宝小綬章を授ける

岡部　善一　出口　道博　渡**邉**　忠義

瑞宝双光章を授ける（各通）

新二日市教文　中本　和夫

瑞宝単光章を授ける（各通）（以上三月五日）

岩下　長幸

瑞宝双光章を授ける（三月九日）

官庁報告

官庁事項

北海道開発局公示

電線共同溝の整備等に関する特別措置法（平成７年法律第39号）第３条第１項の規定に基づき電線共同溝を整備すべき道路を指定したので、同条第４項の規定に基づき次のとおり公示する。

令和７年４月９日

北海道開発局長　坂場　武彦

道路の種類	路線名	区間
一般国道	36号	登別市登別東町１丁目25番２から同市登別本町１丁目１番１までの上下線